

自然体験で心身を育みます

市立少年自然の家

野外活動、自然観察、勤労生産活動、集団宿泊生活などの体験活動を通して、子どもの心身を育む施設です。
 アスレチックやテント設営、天体観望などの体験活動ができます。
 ◇休館日 月曜日、祝日、年末年始



参加者募集 ワイルドキッズⅠ・Ⅱ

- ◇内容 レクリエーション、野外活動など
- ◇対象 市内に住む、Ⅰは小学1・2年生、Ⅱは小学3・4年生
- ◇期日 Ⅰは10月6日(土)~7日(日)、Ⅱは10月20日(土)~21日(日)
- ◇定員 各100人(超えたら抽選)
- ◇料金 1500円程度(保険料を含む)
- ◇申し込み 電話かほかき、ファクスで住所、参加者・保護者氏名、性別、学校名、学年、電話番号を、Ⅰは9月21日、Ⅱは10月5日(いずれも必着)までに〒892-0871吉野町11078-4市立少年自然の家244-0333(FAX244-0334)へ

宮川野外活動センター

豊かな自然の中で宿泊学習や野外活動ができる青少年教育施設です。
 キャンプ活動や野外炊飯活動、五右衛門風呂などの体験活動ができます。
 ◇場所 五ヶ別府町159
 ◇休所日 月曜日、祝日、年末年始
 【宮川野外活動センター 265-5094】



冒険ランドいおうじま

自然の中での体験を通して、豊かな心とたくましさや養うことができる青少年教育施設です。
 南の島の豊かな自然環境の中で、宿泊学習や野外活動などの体験活動ができます。
 ◇場所 三島村硫黄島
 ◇開所期間 3月20日~11月30日
 【冒険ランドいおうじま 09913-2-2215・青少年課 227-1971】



地域で子どもを支えます

学校支援ボランティア

各学校では、地域の人たちからさまざまな支援を得て、教育活動を行っています。
 学校と地域、子どもたちと地域の人たちのつながりを親密にし、知識や技能、経験などを学校で生かすことで、教育活動の一層の充実を図ります。
 学校支援ボランティアは、学校の力強いパートナーとして、子どもの学力向上につながるほか、学校への理解も深まります。
 また、地域の人たちの生きがいや自己表現、社会参加の場としても活用でき、活気あるまちづくりにつながります。
 ◇活動例
 ・毛筆・硬筆の補助
 ・計算の補助
 ・本の読み聞かせ
 ・あいさつ運動 など
 【生涯学習課 813-0851】



スクールガード

各小学校の通学路や学校敷地内で、不審者から子どもたちを守ることを目的に「学校安全ボランティア」として、巡回や子どもの見守り活動を行っています。
 スクールガード活動により、子どもの安全を守るとともに、安心して暮らすことができる環境を整えることができます。
 ◇活動内容
 ①安全パトロール
 ②登下校指導
 ③防犯教室・防犯訓練・安全マップ作成などへの協力
 ④不審者(車)や危険箇所などの情報収集、情報提供
 ⑤学校内外の安全点検
 【保健体育課 227-1951】



ふるさとの先輩からのメッセージ



鹿児島市ふるさと大使 (京セラ株名誉会長) 稲盛 和夫さん

よき思いを抱き、よき行いをする

鹿児島市の青少年の皆さんへ
 同じ故郷の先輩として、また皆さんの「お爺さん」として、私の今までの人生に触れながら、皆さんの今後の人生にとって参考になればと考え、お話ししてみたいと思います。
 私は京セラとKDDIという2つの会社を創業しました。京セラは、現在、売上1兆円を超える、日本を代表するメーカーの1つに成長しています。また、KDDIもauという携帯電話事業などを通じて、売上は4兆円に迫り、この2社の利益を合算するならば、約6,000億円という、素晴らしい実績をあげる企業へと発展しています。
 また近年では、倒産した日本航空を再建する役目を担い、世界の航空業界でNo.1の収益をあげられる会社にまで立て直すことができました。
 このため、「素晴らしい経営者だ」と私のことを褒めてくださる世の方々が多くなりますが、実は、私の前半生は決して順風満帆ではありませんでした。
 鹿児島に生まれ育った私は小さい頃、結核にかかり、死に瀕しました。また、中学、大学と何度も受験に失敗した上に、空襲で家が焼けてしまうという経験をしています。さらには、大学卒業後も希望した会社に就職することはできませんでした。このように、私の前半生は常に災難と共にあったのです。

そのような不幸な運命のもとに生まれ育った私が携わった会社が、いずれも成長発展を遂げることができたのはなぜでしょうか。それは、会社経営に携わることによって、どんな困難にも負けることなく、日々少しでもよき思いを抱き、よき行動をとろうとしてきたからだ、私は信じています。
 よき思いとは、次のようなものです。真面目で、正直で、謙虚で、努力家であること。常に明るく、建設的で、協調性があること。そして優しく、思いやりがあり、利他的であること。こうしたよき思いを抱くことで、自分の運命を好転させることができるのです。
 若い皆さんの人生にも、これから様々なことが起きることでしょう。大切なことは、幸運であれ災難であれ、人生で起こる様々なできごとを、神様が与えてくださった試練だと考えることです。幸運であったときには、「ありがとう」と感謝の心で受け止め、さらに努力を続ける。災難であったときには、嘆かず、恨まず、腐らず、愚痴をこぼさず、明るく前向きに、感謝の気持ちをもって努力を続けるのです。
 そのようにして、よいときも悪いときも、心の中によき思いを抱き、よき行いを続けるなら、すばらしい未来が訪れるはずですよ。皆さんがこれから歩み始める人生が、豊かなものとなることを心から祈っています。

元気に育て！「さつまっ子」



学校では新学期を迎える9月。今月は、青少年の健全な育成のために、社会全体で取り組むことの大切さを考えてみましょう。
 【青少年課 227-1971】

心豊かな青少年を育てるために

少子高齢化の進行、地域社会における人間関係の希薄化、ライフスタイルの変化など、青少年を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした変化の中で、心豊かな青少年を育てるためには、子どもが「認められている」「大切にされている」と感じられることが大切です。
 ありのままの自分を受け入れ、価値あるものとする自尊の感情を育てること、周りの人を受け入れることもできるようになります。また、マナーや道徳を大切に、それらを守る規範意識を育てることは、社会生活を守る基盤となります。このようなことを念頭に、心豊かな青少年を育てるために、地域・家庭・学校がそれぞれの役割を果たしていくことが必要です。

心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動

本市では、市青少年問題協議会で青少年健全育成に関する主な施策などを審議するほか、「心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動を進めています。また、年4回(春夏秋冬)期間を定め、運動の推進を行っています。それぞれの期間ごとに、テーマや実践事項を定めて運動に取り組みます。このほかに、道徳教育や人権教育を推進し、お互いの人間関係を深め、心の教育の充実を図るため、市と学校が連携し、新・郷中教育放課後子ども教室推進事業や、学校支援ボランティアの充実にも努めています。



運動期間中に行われた講座

あいご会

みんなで子どもを見守っています



大杉 賢和さん (野尻町あいご会)

○東桜島校区あいご会では、年間を通してさまざまな行事を行っています。中でも、7月に行う望岳遠泳大会は地域みんなで取り組む大きなイベントです。
 ○私たちの単位あいご会は規模が小さいのですが、校区内の他の単位あいご会の行事にもお互いに参加し合っ、地域全体の活性化を図っています。
 ○あいご会は地域の人たちの絆も強くなります。地域のみんなで子どもたちを見守り、「桜島の自然を思い出す大人になってほしい」と願いながら、活動しています。

スポーツ少年団



クリーン作戦

スポーツ少年団は、活動基本方針の1つに「団員の積極的な参加 奨励」と青少年の健全育成」を掲げ、あいご会やPTA、町内会などの連携・協力による青少年健全育成地域活動を展開しています。
 団の活動はスポーツ活動のほか、社会活動や学習活動などにも取り組み、交流大会や地域のクリーン作戦などを行っています。
 【市民スポーツ課 285-2244】

非行防止の取り組み(声かけ)

市立青少年補導センター(青少年課内)では、補導員を委嘱して、週4回、天文館地区や鹿児島中央駅地区、谷山地区で愛の声かけ運動を行っています。
 また、児童生徒の健全育成を図るため、小・中・高校のPTAや教職員が一体となり、児童生徒の校外での生活指導に取り組んでいます。



ゲームセンターを見回る補導委員

非行につながらせないために



野崎 俊賢さん (少年補導委員)

○10年ほど前から毎週土曜日の夜間補導に携っています。以前はシンナー吸引の問題などもあったのですが、最近の子どもたちは素直な子どもが多いですね。
 ○声をかける時は、目線を合わせて話をしています。グループだと反発する子どももいますが、一人ひとり丁寧に話をすると、話を聞いてくれます。
 ○私たちの活動は、つかまえることが目的ではありません。万引きなどの犯罪につながる前に子どもたちと話をし、嫌な思いをして別れることのないように「早くおうちに帰ってほしい」という気持ちで声をかけています。

表1 地域・家庭・学校の果たす役割

- 地域
 - ・大人自らが進んであいさつをする
 - ・地域の行事に大人自らが進んで参加し、子どもたちに声をかける
 - ・地域から家庭にいろいろな体験活動を紹介する
 - ・地域の大人が学校に子どもたちの良さを伝える
- 家庭
 - ・地域の行事に子どもを積極的に参加させる
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践させる
 - ・子どもに役割を持たせ、役割を果たしたら、「ありがとう」の一声をかける
- 学校
 - ・教職員が積極的に地域の行事に参加する
 - ・子ども一人ひとりに出番のある、「分かる・できる」授業を行う
 - ・子ども一人ひとりに声をかけ、いじめや不登校などの未然防止に努める
 - ・子どもの良さを家庭に伝える



表2 心豊かで元気あふれる「さつまっ子」の育成

- 基本理念
 - 個性豊かな人生を送るための基礎的な教養を身につけ、ふるさとをこよなく愛し、自ら学び続ける意欲を持ち、国際社会にたくましく生きていく青少年を市民みんなが協力して育成する。
 - ・地域で声かけと環境づくりの推進
 - ・親子でさまざまな体験活動に参加
 - ・第3土曜日は「青少年育成の日」、第3日曜日は「家庭の日」
 - ・親子のふれあいを深め、わが家の家訓の話し合い

